

エスプレッソ式コーヒーメーカー

E4

取扱説明書



安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称と付属品	6
ホーム画面／ボタン操作について	9
はじめてお使いになるときは	10
抽出前の準備	13
給水タンクに水を入れる	13
コーヒー豆を入れる	13
コーヒーを抽出する	15
お湯を注ぐ	16
使用中は	17
給水する	17
コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる	17
使用後のお手入れ	18
給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄	18
定期的なメンテナンス	19
マシン洗浄をする	19
ホッパーのお手入れ	21
フィルターを交換する	21
設定	22
アラーム表示	24
こんなときは	25
消耗品	26
ご購入が可能な消耗品	26
保管方法	26
廃棄について	26
水抜きの方法	26
アフターサービスについて	27
仕様	27
お問い合わせについて	27

- 本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。
- ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

〈表示の説明〉



警告

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

- コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。

定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外の電源では使用しない。

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



アースを接続する。

アースを接続せずに万一漏電が起こった場合は、感電や火災の恐れがあります。

- アース工事が必要な場合は、販売店・電気工事店にご相談ください

警告

■ 製品の取り扱いについて



分解禁止

当社に認定されたサービスマン以外は分解・修理・改造をしない。(電源コードやプラグを含む)

製品が正常に作動せずに水漏れ、感電、火災などの原因となります。



プラグを抜く

この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、感電や火災などの原因となります。

● 販売店もしくは弊社コールセンターにご連絡ください。

異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

● すぐに販売店もしくは、弊社コールセンターにご連絡ください。



付近でガス漏れの可能性がある場合には、直ちに使用を中止する。

● 使用しているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。



本体の内部にある部品や電気配線、配管などに触れない。

やけどや感電の原因となります。

当社が推奨または販売していない部品を使用しない。

火災・感電・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。

本体に水がかかってしまった場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社コールセンターにご連絡ください。



子どもが使用するときは、近くで監督する。また、幼児の手の届くところで使用しない。

注意

■ 電源コード・電源プラグについて



使用中は電源コードが本体に触れないようにする。

感電・ショートの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

安全上のご注意 (続き)



注意

■ 設置について



本体は水平で安定し、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置する。
また、熱に弱い敷物の上で使用しない。
不安定な場所に設置すると、落下や転倒などによりけがの原因となります。



壁や家具の近くでは使用しない。
蒸気や熱により変形、変色する恐れがあります。



天然木や天然石の上に置く場合、水や洗剤の飛沫がついても影響がない材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護をおこなう。

使用の際に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。

■ 使用中について



抽出する前に、抽出ヘッドの位置に注意してカップを置く。また、高さの低いカップの場合は、抽出ヘッドの高さを低くする。
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。

排水トレイにたまった水はこまめに捨てる。
水がこぼれて、床や机を汚す原因になります。



抽出中は、抽出口に顔や手を近づけない。
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。



接触禁止

抽出中や抽出直後は、抽出口など高温部に触れない。
やけどの原因となります。

作動中にホッパーの中に手を入れない。
けがの原因になります。

■ 製品の取り扱いについて



製品を移動する場合には、電源プラグをコンセントから抜き、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすなどがなく、十分に冷めていることを確認してからおこなう。
やけどや感電の原因となります。

長期間使用しない場合は、本体内部に残っている豆を使い切る。

本体内部に豆が残っていると、次に使用するとき古い豆で抽出をおこなってしまいます。



本体を落下させたり倒したりしない。
けがや故障の原因となります。

本来の目的以外には使用しない。
事故の原因になります。

■ お手入れについて



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなう。
やけどの原因になります。



本体は水洗いしない。
感電の原因になります。



フィルターの交換やクリーニングは規定どおりに実施する。

規定通りにおこなわないと、カビや細菌が繁殖する原因になります。

使用上のご注意

■ 設置場所について

- 周辺温度が 10 ～ 35℃の水平な場所に設置してください。
(上記範囲外だと故障の原因)
- 直射日光が常に当たる場所、埃やちりが多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。
(故障の原因)
- 本体の周囲に熱がこもらないように、周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。
(熱がこもると故障の原因)
- ガスコンロ、電熱器、熱くなったオーブンなどの上やそばに置かないでください。
(熱によって変形し、故障の原因)

■ 使用時

- 給水タンクに水以外のものやお湯を入れないでください。
(故障の原因)
- ホッパー（7 ページ参照）にコーヒー豆以外のものや挽いたコーヒー粉を入れないでください。
- 野外では使用しないでください。
(故障の原因)
- 給水タンクに水を入れていない状態で使用しないでください。
(故障の原因)
- 最大容量（給水タンクの MAX ライン）を超えた水を入れて使用しないでください。
(故障の原因)
- 給水タンクを本体に取り付けたまま水を補充しないでください。
(故障や感電の原因)

■ 使用後

- 電源プラグをコンセントから取り外すときは、本体の電源をオフにし、本体の動作が止まってからおこなってください。
(故障の原因)

■ お手入れ時

- 本体のプラスチック部分の清掃にアルコール類を使用しないでください。
(破損の原因)
- 本体の上面は傷が付きやすいため、メガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- 外した部品や機器の清掃に、乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
(破損や変形の原因)

使用後のお手入れ方法は、18 ページを参照してください。

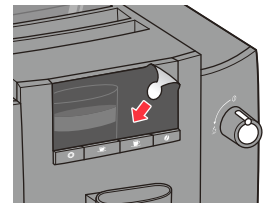
各部の名称と付属品

はじめに各部品がすべてそろっているかご確認ください。

梱包時の箱は、本体を保管するときなどに使用しますので、捨てずに保管しておいてください。


お願い

初めてご使用になるときは、液晶ディスプレイに貼ってある保護シールをはがしてください。



■ マシン本体

給湯ノブ

ノブを  に回すと、お湯が注入されます。

液晶ディスプレイ

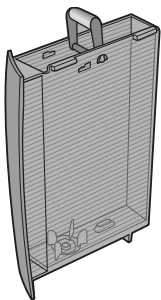
(9 ページ参照)

ふた

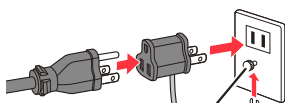
電源プラグ

電源コード

給水タンク



電源接続について



アース端子

アース線

コンセントが2穴の場合は、付属の2芯変換プラグを取り付け、アース線をアース端子に接続してください。

抽出ヘッド周辺

抽出ヘッド

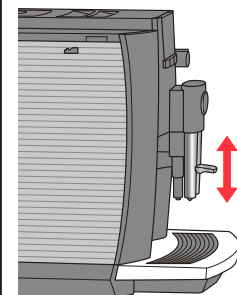
給湯口

コーヒー抽出口

コーヒーは左右の抽出口から同時に抽出されます。

抽出ヘッド

カップの高さに合わせて位置を上下することができます。



■ マシン本体上面

挽き目調節ダイヤル

コーヒー豆を挽くときの粒度を6段階で調節します。



お願い

挽き目調節ダイヤルはグラインダーが動いているときのみ調節してください。グラインダーが停止しているときにダイヤルを動かすと、故障や破損の原因になります。

電源ボタン

ホッパー

コーヒー豆を入れます。
※ホッパーの下（外からは見えません）にはコーヒー豆を挽くグラインダー（コーヒー豆を粉状にするための部品）があります。

お願い

ホッパーにコーヒー豆以外のものや粉コーヒーを入れないでください。故障の原因になります。

通気口

抽出中は湯気が出ます。

ホッパーふた

粉コーヒー投入口

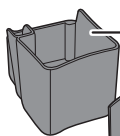
粉コーヒーを投入します。また、クリーニング剤もここから投入します。

ポイント

オフタイマー

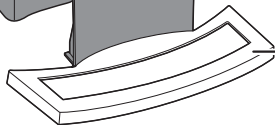
電源オン時、一定時間操作がないと、自動的にすずぎがおこなわれ、電源がオフになります。オフになるまでの時間は設定することができます。（22 ページ参照）

トレイユニット

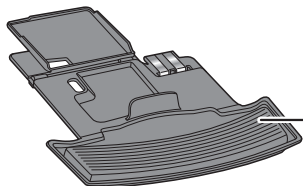


かす受け容器

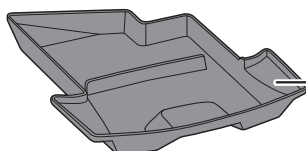
使用済みのコーヒーかすが排出されます。



引き出しトレイ

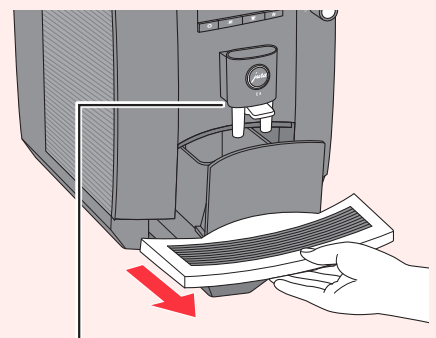


カップ受け



排水トレイ

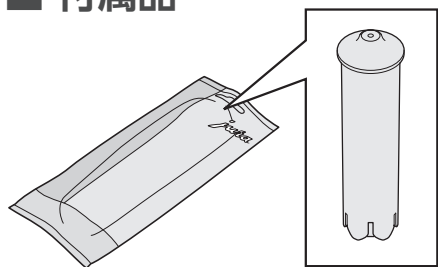
排水トレイの下側を持ち、引いて取り外します。



トレイユニットを引き出すときは、引き出しトレイに当たらないよう抽出ヘッドを上げてください。

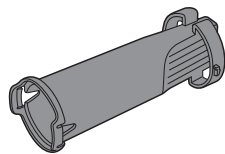
各部の名称と付属品 (続き)

■ 付属品



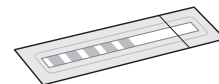
フィルター × 1^{※1}
(クラリススマートフィルター)

給水タンクに取り付けます。



フィルターエクステンション × 1

フィルターに取り付けます。



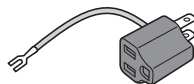
テスター × 1

水の硬度を測ります。

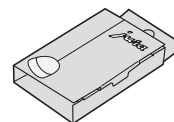


コーヒースプーン × 1

コーヒー粉やコーヒー豆を投入するとき 사용합니다。



2芯変換プラグ × 1



マシンクリーニング剤 × 1^{※1}
(2錠入り)^{※2}



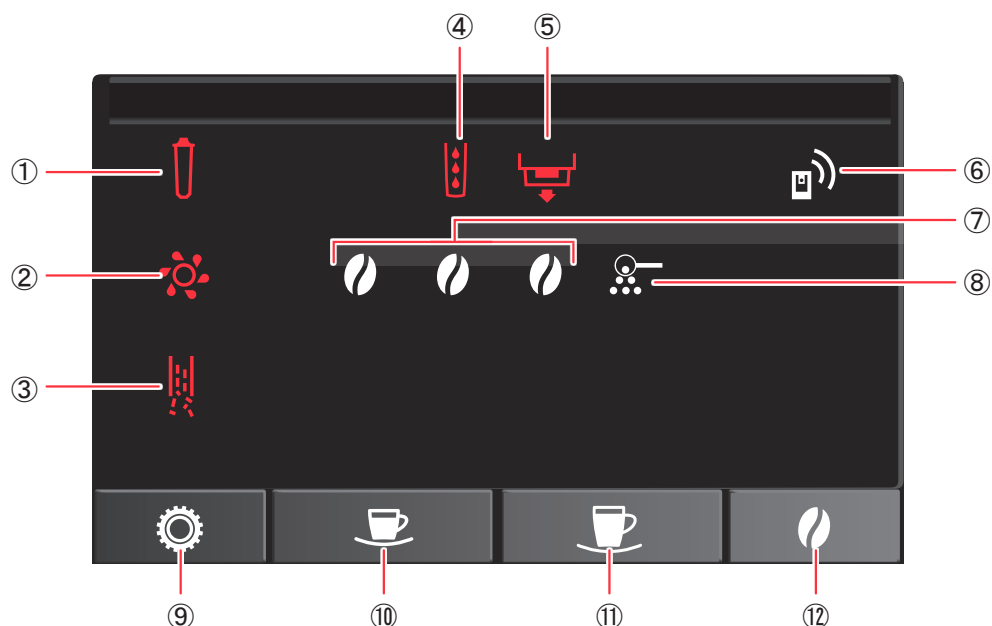
マシンクリーナー × 1^{※1}

(20錠入り)^{※2}

※1 消耗品 (26 ページ参照)

※2 サンプル品

ホーム画面／ボタン操作について



①		フィルターマーク	フィルター交換の時期になると赤く点灯します。 (21 ページ参照)
②		マシン洗浄マーク	マシン洗浄の時期になると赤く点灯します。 (19 ページ参照)
③		CA 除去マーク	CA 除去の時期になると赤く点灯します。 弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法はCA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
④		水タンクマーク	水タンク内の水量が不足すると赤く点灯します。 (17 ページ参照)
⑤		かす受けトレイマーク	トレイユニットにコーヒーかすや排水が溜まると赤く点灯します。 (17 ページ)
⑥		Wi-Fi マーク	Wi-Fi 通信が開始されると点灯します。
⑦		コーヒー濃度マーク	コーヒーの濃さの他、水の硬度などの設定数値を表します。 表示の意味は、直前の操作によって異なります。詳細は各項目を参照してください。
⑧		コーヒー粉マーク	コーヒー粉からコーヒーを抽出するときに表示されます。 また、水の硬度などの設定数値を表します。 表示の意味は、直前の操作によって異なります。詳細は各項目を参照してください。

⑨		設定ボタン	本製品のメンテナンスや設定変更時に使用します。
⑩		スモールカップボタン	コーヒーを抽出するときに使用します。(初期設定値 40ml) また、設定変更時の左方向ボタンとしても使用します。
⑪		ラージカップボタン	コーヒーを抽出するときに使用します。(初期設定値 155ml) また、設定変更時の右方向ボタンとしても使用します。
⑫		コーヒー濃度ボタン	コーヒーの濃さを変更するときに使用します。 また、選択した設定を確定するときに使用します。

はじめてお使いになるときは

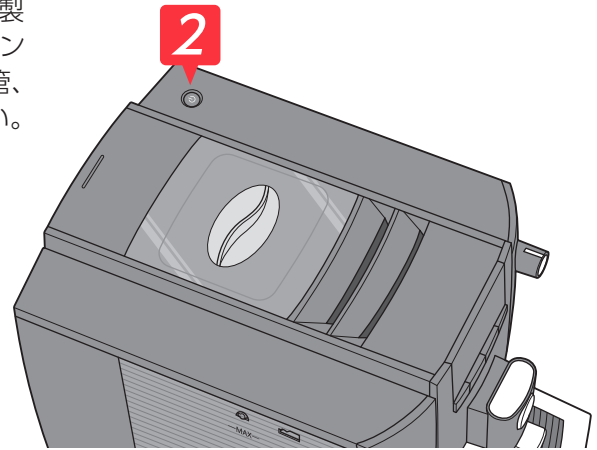
はじめてお使いになるときは、初期設定をおこないます。

※本製品は工場ですべて実際にコーヒー豆を使って抽出テストをおこない、出荷しています。そのため、初めてお使いになる場合でもコーヒー粉が残っている場合があります。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。

必ずアース接続してください。
アースコンセントがない場合は、現在ご使用中の電化製品（エアコン・冷蔵庫・電子レンジなど）のアースコンセントに共用接続してください。また、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線とは共用接続しないでください。

2 電源ボタンを押します。



3 画面が表示されるので、水の硬度を設定します。

●硬度は付属のテスターを使って確認してください。

☕ / ☕ ボタンで硬度を選択し、☕ ボタンで確定します。

画面表示	硬度設定値
☕	1 ~ 7dH
☕ ☕	8 ~ 15dH
☕ ☕ ☕	16 ~ 23dH
☕ ☕ ☕ ☕	24 ~ 30dH



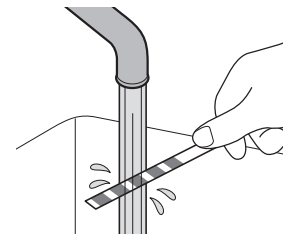
硬度を下げる

硬度を上げる

<硬度の確認方法>

- ① 付属テスターを袋から取り出し、蛇口から出る水道水に約 1 秒間さらします。
- ② 水気を切り、その後 1 分間放置します。
- ③ テスターの色が赤色に変わっている数をテスターの袋に記載されている硬度表と照合し、硬度を設定します。

テスター	赤色の数	硬度設定値
	0	1dH
	1	6dH
	2	11dH
	3	16dH
	4	21dH
	5	26dH



4

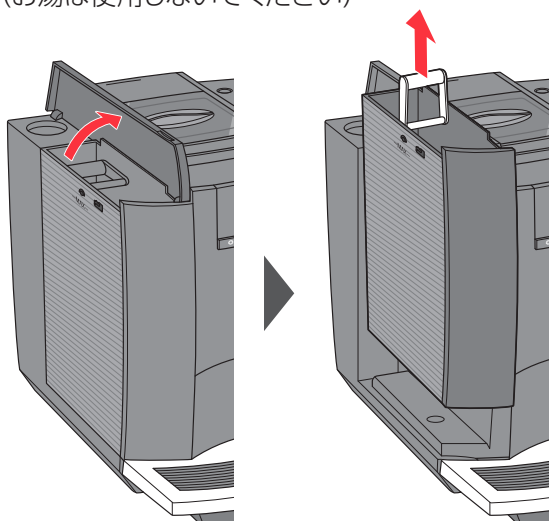
 と  が点灯するので、

給水タンクにフィルターを取り付けます。

フィルターは必ずクラリススマートフィルターを使用してください。

- ① 本体のふたを開け、給水タンクを取り外します。

給水タンクは水で軽く洗ってください。
(お湯は使用しないでください)

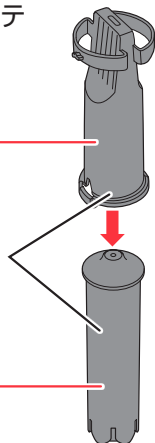


- ② フィルターにフィルターエクステンションを取り付けます。

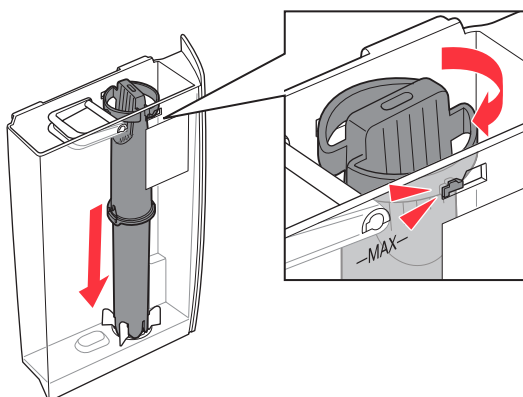
フィルターエクステンション

カチッと音がするまで
押し込みます。

フィルター
(クラリススマートフィルター)



- ③ 給水タンク底のみぞに合わせてフィルターを取り付け、時計回りに回して固定します。

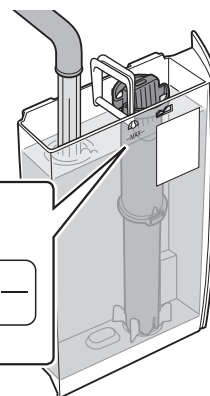


- ④ MAX ライン (約 1.8L) まで水を入れます。

お願い

MAX ライン以上の
水を入れて使用し
ないでください。

—MAX—



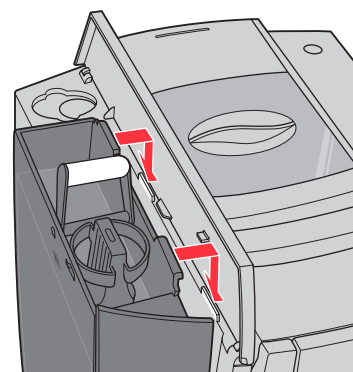
⚠ 注意

水が入っている状態の水タンクは、タンク部を持って運ぶ。

水タンクのハンドルは、構造上強い力に長く耐えられません。



- ⑤ 給水タンクを本体に取り付け、ふたを閉めます。

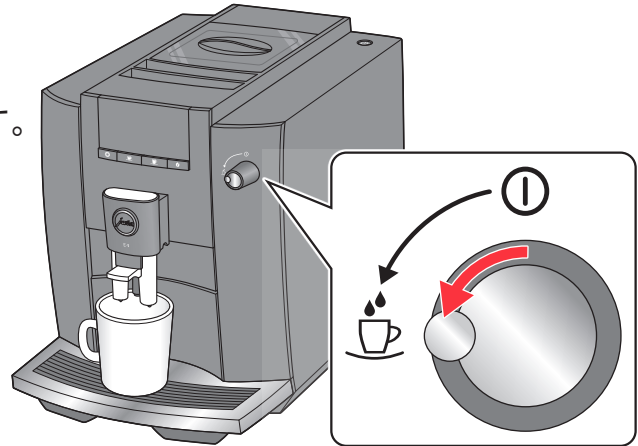
給水タンクのつめを本体のみぞに確実に取り付けてください。



はじめてお使いになるときは (続き)

5

 が右から左に点滅するので、給湯口の下に容器(300ml以上のもの)を置き、給湯ノブを  マークに合わせます。



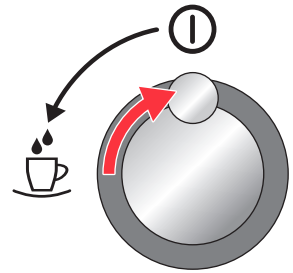
フィルターすすぎがおこなわれますので、少し待ちます。
フィルターすすぎ中は給湯口からお湯が出ます。

 **注意**


フィルターすすぎ中は、給湯口からお湯が出るので、やけどに注意する。

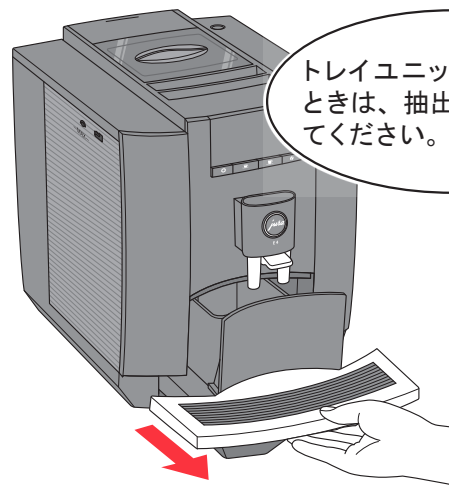
6

すすぎが終わり、 が左から右へ点滅したら、給湯ノブを ① マークに合わせます。



7

 が点灯したら、排水トレイにたまった水を捨て、すすいだあと、排水トレイを本体に戻します。



トレイユニットを引き出すときは、抽出ヘッドを上げてください。(破損の原因)

8

コーヒー抽出口の下に容器を置きます。

マシン洗浄がおこなわれますので、少し待ちます。
マシン洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

 **注意**

マシン洗浄中は、コーヒー抽出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

洗浄が終わり、 の点滅が終了したら、準備完了です。

抽出前の準備

給水タンクに水を入れる

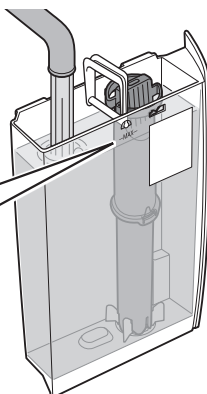
給水タンクに水を入れ、本体に取り付けます。

- 1 MAXライン(約1.8L)まで水を入れます。

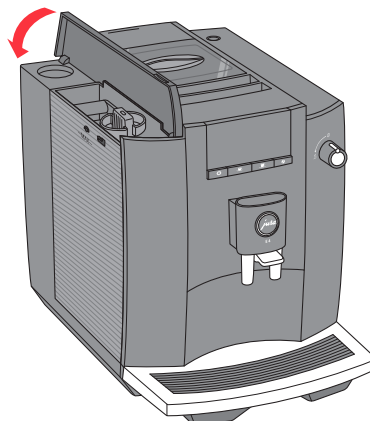
お願い

MAXライン以上の水を入れて使用しないでください。

—MAX—



- 2 給水タンクを本体にセットし、ふたを閉めます。



コーヒー豆を入れる

- 1 ホッパーふたを外します。

- 2 コーヒー豆をホッパーに入れます。

コーヒー豆は、入れすぎないようにご注意ください。ホッパーふたが閉まらなくなります。(空の状態で上限約 200g)

お願い

故障の原因になりますので、以下を守ってください。

- コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆以外のものや挽いた豆を入れないでください。
- 冷凍庫や冷蔵庫に入れたコーヒー豆は結露をなくすため、室内にしばらく置き、室温に戻してからご使用ください。
- フレーバーコーヒーはお使いいただけません。

ポイント

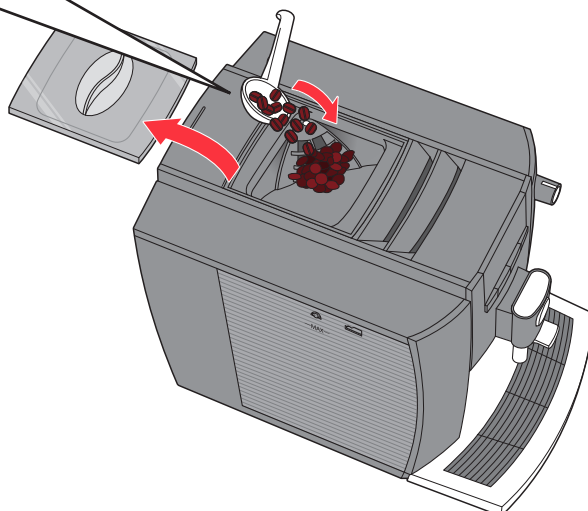
コーヒー豆の粒度を調節するときには挽き目調節ダイヤルを回すと6段階で粒度が調節できます。



お願い

挽き目調節ダイヤルはグラインダーが動いているときのみ調節してください。グラインダーが停止しているときにダイヤルを動かすと、故障や破損の原因になります。

- 3 ホッパーふたを閉めます。



コーヒーを抽出する


1

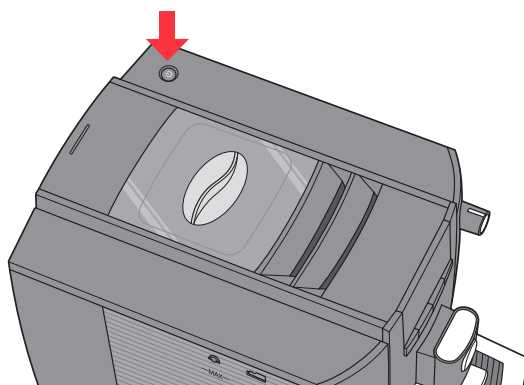
電源を入れます。

- ①電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ②本体の電源スイッチを押します。

電源を入ると、自動的にヒーティング（マシン内部の加熱）とすすぎがおこなわれます。

ヒーティング・すすぎ中は  が点滅して、コーヒー抽出口からお湯が出ます。

コーヒーが抽出可能になると、点滅が終了して、設定された濃さの  が点灯します。




2

コーヒーの濃さを設定します。

- ボタンを押して、コーヒーの濃さを調節します。
- コーヒーの濃さは3段階です。

画面表示	コーヒーの濃さ
	マイルド
	ノーマル
	ストロング

- 調節をおこなった場合は、設定が保存され、次回抽出時に反映されます。
-  と表示されている状態では、コーヒー豆からのコーヒー抽出はできません。



3

カップ受けの上にコーヒーカップを置き、抽出ヘッドの高さを調節します。

背の低いカップの場合、抽出ヘッドの位置が高すぎると、コーヒーが飛び跳ねる恐れがありますので、適度な高さに調節してください。



ポイント

コーヒーは左右のコーヒー抽出口から同時に抽出されます。



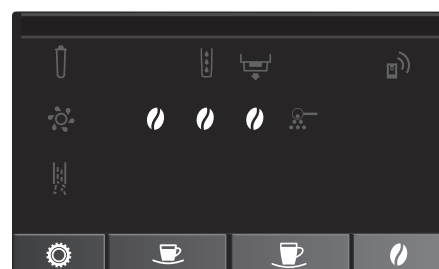
4

ボタンまたは ボタンを押します。

抽出が開始されます。

あらかじめ設定された量のコーヒーが抽出されます。

- 抽出を途中で止めたいときは、いずれかのボタンを押します。
- ※ 蒸らしのときに少量のコーヒーが抽出される場合があります。





注意

抽出中は、やけどに注意する。




コーヒーを抽出する (続き)



2 杯続けて抽出するとき

- ① コーヒーカップを 2 つ準備します。
- ② カップ受けの上にコーヒーカップを 2 つ置き、抽出ヘッドの高さを調節します。
- ③  ボタンまたは  ボタンを、2 回押します。
抽出が連続して 2 回行われます。

コーヒーの量の設定

カップのサイズに応じて、抽出されるコーヒーの量を設定することができます。(15ml ~ 240ml)

- ① カップ受けの上にコーヒーカップを置き、抽出ヘッドの高さを調節します。
 - ②  ボタンまたは  ボタンを約 2 秒間長押しします。
抽出が開始され、 が左から右に点滅すると、抽出量設定が始まります。
 - ③ お好みの量のコーヒーがカップに抽出された時点で、長押ししたボタンと同じボタンを押して抽出を停止します。
- ※ ③で抽出停止操作をしないと最大 240ml の抽出が行われますが、抽出量は設定されません。


- 使い始めやしばらく使用していなかったときは
内部にコーヒー粉が充填されていないと抽出が途中で止まる場合があります。
その場合は再度  ボタンまたは  ボタンを押してください。

ポイント

オフタイマー

電源オン時、一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります。
オフになるまでの時間は設定することができます。(22 ページ参照)

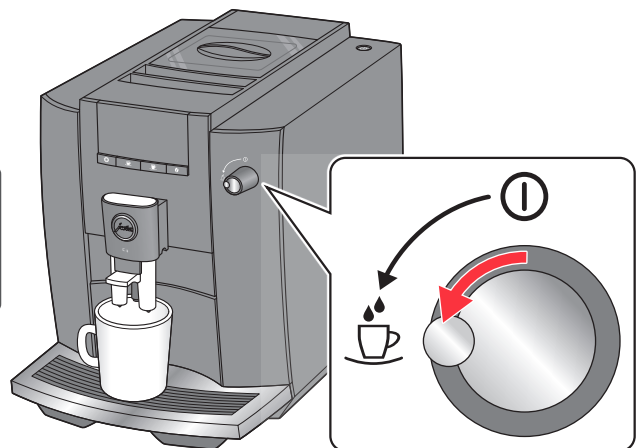
お湯を注ぐ

- 1** カップを給湯ノズルの下に置き、
給湯ノブを  マークに合わせます。
給湯ノズルからお湯が出ます。

注意


お湯を注いでいるときは、やけどに注意する。

- 2** 給湯ノブを ① マークに合わせて、
お湯を止めます。



使用中は


給水する

 が点灯したら、給水します。

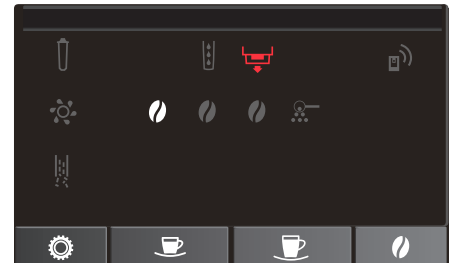
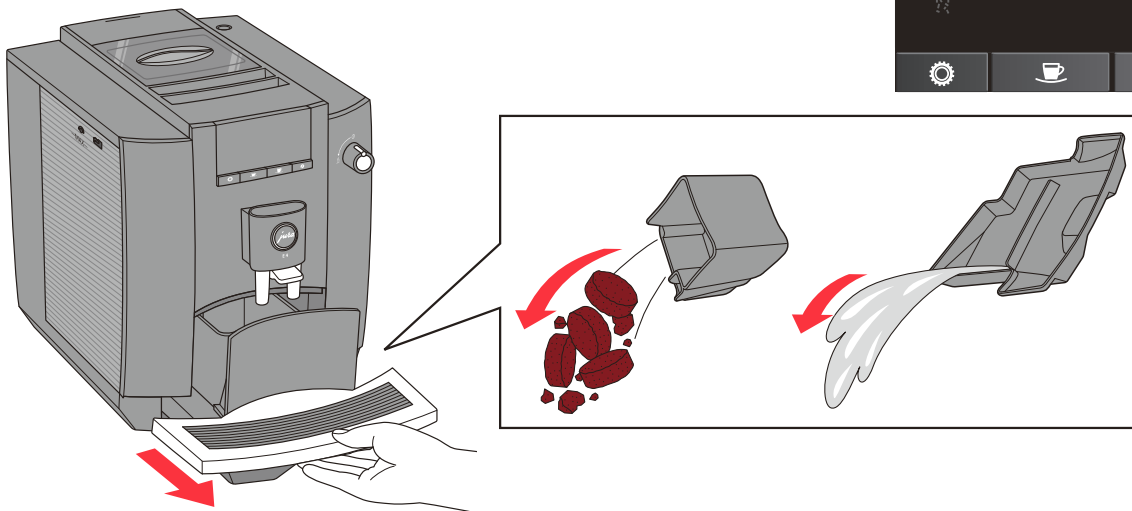
目安として、給水タンクに MAX ラインまで水を入れた状態で、コーヒーを約 9 杯分抽出できます。(初期設定 155ml の場合)
給水タンクを本体に戻すと、画面は元に戻ります。



コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる

 が点灯したら、トレイユニットを引き出し
コーヒーかすと排水の両方を捨ててください。

本製品には排水トレイが満水であることのみを示す表示はありません。
この表示が出たら、コーヒーかすと排水の両方を必ず捨ててください。




お願い

製品が動作しているときは、トレイユニットを引き出さないでください。(25 ページ参照)
トレイユニットがセットできなくなるおそれがあります。(故障の原因)

⚠ 注意

排水トレイの水は必ず定期的に捨てる。

- コーヒーマシンはコーヒーを抽出したあと、コーヒーかすの水分を取るため、毎回少量の水をトレイに排出します。
-  マークは、排水トレイのセンサーが水位を検知した際に点灯します。点灯したら、コーヒーかすと排水の両方を必ず捨ててください。
- 排水トレイとかす受け容器の後ろに少量のコーヒー粉が落ちることがありますが、これは故障ではありません。静電気などによってコーヒー粉が本製品の内壁に付着することで発生します。
かす受け容器の後ろにコーヒー粉が落ちていたら、排水の破棄と同時に清掃してください。

使用後のお手入れ

1日の終わりに 給水タンク、かす受け容器、排水トレイの洗浄

注意

- 本体は水洗いしない。
感電の原因になります。
- お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからおこなう。
やけどの原因になります。

お願い

- 乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- マシンの表面は傷が付きやすいためメガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- 本体のプラスチック部分清掃にアルコール類を使用しないでください。

1 電源を切る前に、トレイユニットを引き出し、かす受け容器に入っているかすを捨てます。

トレイユニットは引き出してから、セットするまで 10 秒以上時間をおいてください。

2 かす受け容器を戻し、トレイユニットを本体に戻します。

3 電源ボタンを押して電源をオフにします。

電源をオフにすると、自動的に本体内部のすすぎがおこなわれ、抽出口からお湯が出ます。すすぎが終了すると、お湯は自動的に停止します。

※ マシン洗浄（19 ページ）後に電源をオフにすると、すすぎをせずに電源が切れます。マシン洗浄後に抽出した場合は、電源をオフにすると、すすぎがおこなわれてから電源が切れます。

4 トレイユニットと給水タンクを取り外し、洗います。また、本体内部を清掃します。

給水タンク

給水タンク内の水を捨て、フィルターを外したあと、中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、フィルターを給水タンクにセットして本体に戻します。

本体内部

トレイユニットを引き出した状態で、本体内部のコーヒーやコーヒーかす汚れを、かたくしぼった布巾や柔らかいブラシ・刷毛で取り除いてください。※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

かす受け容器、排水トレイ、引き出しトレイ、カップ受け

トレイユニットを引き出し、排水トレイにたまっている水を捨てたあと、かす受け容器、排水トレイ、引き出しトレイ、カップ受けを中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、かす受け容器をトレイユニットに戻し、本体にトレイユニットを戻します。

※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

お願い

トレイユニットは動作音がしなくなってから取り外してください。

トレイユニットがセットできなくなるなどの不具合が起きる可能性があります。

（セットできなくなった場合は 25 ページの「こんなときは」を参照してください）


注意


コーヒーかすや排水トレイの水は熱い場合があるので、注意する。

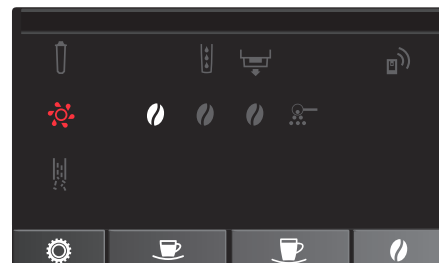
やけどの原因になります。

定期的なメンテナンス

が点灯したら マシン洗浄をする






 が点灯したら、以下の手順でマシン洗浄をおこなってください。

- 目安として 180 杯の抽出、または電源オン時のすすぎが 80 回おこなわれると、 が点灯します。
 - マシン洗浄をするとカウンターはリセットされます。
- ※ 1 週間程度使用しない場合は、マシン洗浄をしてください。



ポイント


 が点灯する前にマシン洗浄をおこなう場合

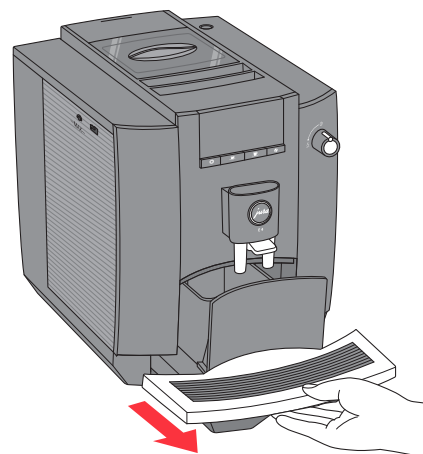
- ① 水タンクに水を入れます。
- ②  ボタンを押します。
 が消灯、 が点灯し、設定モードになります。
- ③  が明るく点灯するまで、 ボタンを 1 回押します。
- ④ 以下の手順を③からおこないます。



1 水タンクに水を入れます。

2  ボタンを約2秒間長押しします。

3  が点灯したら、
トレイユニットを引き出し、かす受け容器を空にして、本体に戻します。



4 容量が300ml以上の容器を抽出口の真下に置きます。



定期的なメンテナンス (続き)

- 5** ボタンを押します。
☉☉ が点灯します。

注意
マシン洗浄中は、抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。



マシンの洗浄がおこなわれますので、少し待ちます。
洗浄中は抽出口からお湯が出ます。

- 6** ☹ が点灯したら、
コーヒー粉投入口を開けてマシンプリーナー1錠を投入します。
※投入のタイミングが異なると、マシンプリーナーはかす受け容器に落下します。
マシンプリーナーは弊社指定のものをお使いください。

タイプ
マシンプリーナー (100 錠入り)

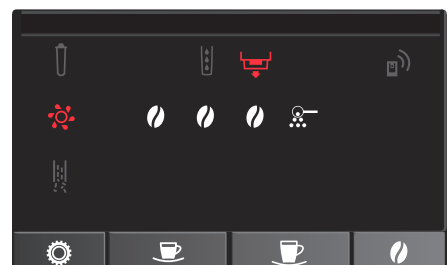


- 7** コーヒー粉投入口を閉めて、☉ ボタンを押します。

マシンの洗浄がおこなわれますので、約 10 分ほど待ちます。

注意
マシン洗浄中は、コーヒー抽出口からお湯や蒸気が出るので、やけどに注意する。

- 8** ☹ が点灯したら、
トレイユニットを引き出して、
かす受け容器と排水トレイを空にします。
※排水トレイおよびかす受け容器には排水が溜まります。



☉☉☉☹ が3回点滅したら、マシンの洗浄は完了です。

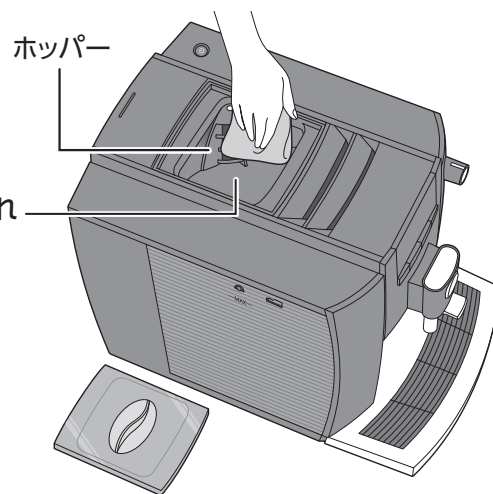
定期的に ホッパーのお手入れ

ホッパー内にコーヒー豆の油分が蓄積すると、豆がうまく挽けなくなったり、風味を損なう原因になります。
なるべくこまめにホッパーを乾燥した柔らかい布で拭いてください。


お願い

ホッパーは湿った布で拭かないでください。
グラインダーがさびる原因になります。


本体内部はお手入れ
できません。

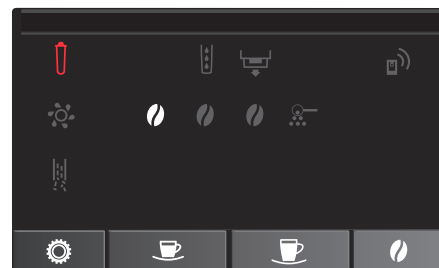


フィルターマークが赤く点灯したら フィルターを交換する

 が点灯したら、フィルターを交換してください。
フィルターは必ず「クラリススマートフィルター」をお使いください。

お願い

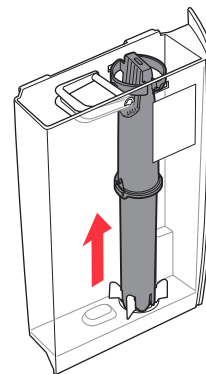
フィルターを取り付けて2ヶ月が経過すると、浄水能力の低下が始まりますので、 が赤く点灯していなくても、以下の手順でフィルターを交換してください。



1 フィルターを取り外します。






- ① 本体のふたを開けて給水タンクを外し、タンク内の水を捨てます。
- ② フィルターを持ち上げて外します。
- ③ フィルターエクステンションを取り外します。

タイプ
クラリススマートフィルター



2 新しいフィルターを取り付けます。

フィルター取り付けの詳しい手順は 11 ページ「はじめてお使いになるときは **4**」の手順を参照してください。

- ① 新しいフィルターにフィルターエクステンションを取り付けます。
 - ② 新しいフィルターを給水タンクに取り付けます。
 - ③ 給水タンクに水を入れ、マシンにセットします。
新しいフィルターを取り付けると、マシンが自動的にフィルターを検出します。
 - ④  が右から左に点滅するので、給湯口の下に容器を置き、給湯ノブを  マークに合わせます。
フィルターすすぎがおこなわれます。
 - ⑤ すすぎが終わり、 左から右へ点滅したら、給湯ノブを  マークに合わせます。
 - ⑥  が点灯したら、トレイユニットを引き出して、かす受け容器と排水トレイを空にします。
- マシンが自動的にフィルターを検出しないときは
マシンの温度が 10℃以下の場合、マシンのセンサーがフィルター情報を読み取れないことがあります。
その場合は 25 ページ「こんなときは」を参照してください。


設定



設定モードでは、オフタイマーと水の硬度を設定することができます。

オフタイマーを設定する

一定時間操作をしないときに、マシンが自動的に電源オフになるまでの時間を設定します。




- ①  ボタンを押します。

 が点灯し、設定モードになります。

- ②  が明るく点灯するまで、 ボタンを4回押します。

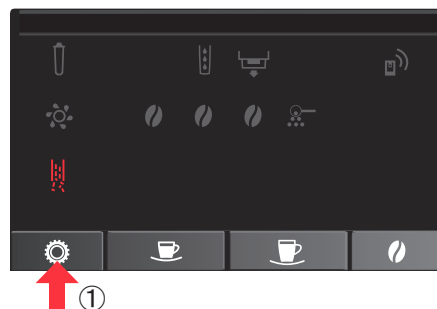
- ③  ボタンを押します。

- ④  ボタン /  ボタンを押し、電源オフになるまでの時間を選択します。

画面表示	電源オフになるまでの時間
	30分(初期設定)
 	1時間
  	2時間
   	4時間


- ⑤  ボタンを押して、設定を確定します。


 が3回連続して点滅します。




水の硬度を設定する

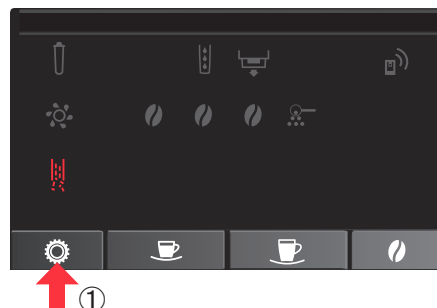
使用後に設定を変更する場合は、以下の手順で再設定します。

- ①  ボタンを押します。

 が点灯し、設定モードになります。

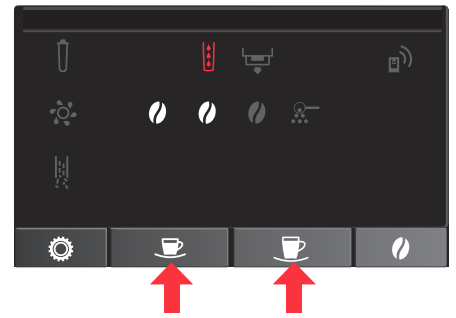
- ②  が明るく点灯するまで、 ボタンを3回押します。

- ③  ボタンを押します。



- ④ ☕ ボタン / ☕ ボタンを押して、水の硬度を選択します。


画面表示	硬度設定値
☕	1 ~ 7dH
☕☕	8 ~ 15dH
☕☕☕	16 ~ 23dH
☕☕☕☕	24 ~ 30dH






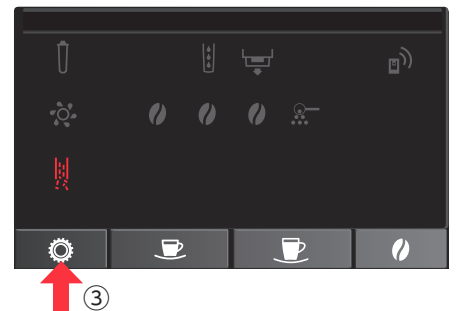
- ⑤ ☕ ボタンを押して、設定を確認します。
☕☕☕☕ が 3 回連続して点滅します。

CA 除去モードのオン／オフを設定する

初期設定では、CA 除去モードはオフに設定されています。

- CA 除去モードをオンにすると、クラリススマートフィルターを使用しない設定に切り替わります。この場合、マシン内部の水垢（CA）堆積抑止のため、定期的な水垢（CA）除去作業が必要です。使用水量カウンタが上限に達して  が点灯したら、水垢（CA）除去作業を行ってください（作業時間は 40 分程度です）。（25 ページ参照）
- クラリススマートフィルターが交換時期に達してもフィルターを交換せずに 10L の水を使用すると、CA 除去モードは自動でオンに切り替わります。
- クラリススマートフィルターをセットすると、CA 除去モードは自動でオフに切り替わります。
※ 使用水量カウンタが上限に達する前にクラリススマートフィルターを交換した場合も、CA 除去モードは自動でオフに切り替わります。ただし、クラリススマートフィルター交換以前の使用水量は、次に CA 除去モードをオンにした際の使用水量に加算されます。

- ① 本体から給水タンクを外し、タンク内の水を捨て、フィルターを取り外します。
- ② フィルターを取り外した給水タンクに水を入れ、マシンにセットします。
- ③  ボタンを押します。
 が点灯し、設定モードになります。
- ④  が明るく点灯するまで、☕ ボタンを 2 回押します。
- ⑤ ☕ ボタンを押します。









- ⑥ ☕ ボタン、または ☕ ボタンを押して、CA 除去モードのオン／オフを設定します。

ボタン	CA 除去モード	画面表示
☕	オフ（初期設定）	☕☕☕☕ (点灯)
☕	オン	☕☕☕☕ (消灯)





- ⑦ ☕ ボタンを押して、設定を確認します。
☕☕☕☕ が 3 回連続して点滅します。

アラーム表示

画面表示	原因	対処方法
 が点灯している。	給水タンクが空になっている。	給水タンクに水を入れてください。
	給水タンクが正しくセットされていない。	給水タンクを正しくセットしてください。
	給水タンクが浮いている。	給水タンクをセットし直してください。
	クラリススマートフィルターが正しく取り付けられていない。	クラリススマートフィルター、フィルターエクステンションを取り付け直してください。
 が点灯している。	かす受け容器が満杯になっている。	排水トレイとかす受け容器を空にしてください。 (17 ページ参照)
	排水トレイが満杯になっている。	
 が点滅している。	トレイユニットが正しくセットされていない。	トレイユニットを正しくセットしてください。 トレイユニットは、取り出してからセットするまで10秒以上間をおいてください (カウンターをリセットさせるため)。 (17 ページ参照)
 が点灯している	マシンの洗浄が必要。	マシンを洗浄してください。 (19 ページ参照)
 が点灯している	水垢除去が必要。	フィルターマーク点灯後もフィルターを取り替えずに10Lの水を使用すると、CA除去モードは自動でオンになります。その後、CA除去モードの使用水量カウンターが上限に達すると、CA除去マークが点灯します。 このマークが点灯したら、弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法はCA除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
 が点灯している。	約50Lの水を使用したため、クラリススマートフィルターの交換が必要。	クラリススマートフィルターを交換してください。 (21 ページ参照)
	クラリススマートフィルターが取り付けられていない。	クラリススマートフィルターを取り付けてください。
 が右から左へ点滅する。	すすぎが必要であるため、給湯ノブを開く必要がある。	給湯ノブを  の位置にします。
 が左から右へ点滅する。	給湯ノブを閉める必要がある。	給湯ノブを ① の位置にします。
フィルターが取り付けられていない状態で  が点灯している。	フィルターが取り付けられていない。	フィルターを取り付けてください。または、CA除去モードに設定を切り替えてください。(23 ページ参照)
コーヒー豆が挽かれた後、  が点滅する。	ホッパーに豆が入っていない。	コーヒー豆を入れてください。
 が点滅する。	挽いたコーヒーの量が足りない。	13 ページの「コーヒー豆を入れる」からやり直してください。

上記以外のアラームが表示された場合は、弊社コールセンターへお問い合わせください。

こんなときは

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない／ 液晶ディスプレイの表示が出ない。	コンセントから電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	3℃以下の寒い場所に保管していた。	本体を 10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が温かくなってから電源を入れてください。
	ディスプレイ保護シートをはがしていない。	保護シートをはがしてください。(6 ページ参照)
コーヒーの出が悪い。 コーヒーが出ない。	コーヒー豆の挽き目が細かすぎて、流れが悪くなっている。	挽き目調節ダイヤルを回し、粗めに設定してください。(13 ページ参照) ※ 挽き目調節ダイヤルはグラインダーが動作している最中に動かしてください。グラインダーが停止している状態でダイヤルを動かすと、故障の原因になります。
	フィルターの目が詰まっている。	クラリススマートフィルターを一時的に外してからコーヒーの抽出をお試しください。状態が改善されたら、新しいフィルターに交換の上、ご使用ください。(21 ページ参照)
	水垢 (CA) がマシン内部に付着している。	水垢を除去してください。 弊社より販売している別売りカルシウム (CA) 除去剤で水垢を除去してください。水垢除去の方法は CA 除去剤に添付のマニュアルを参照ください。
かず受け容器の後ろに コーヒー粉がこぼれている。	使用されたコーヒー粉の量が多かった。	コーヒーの濃さを薄めに設定してください。(15 ページ参照)
		挽き目調節ダイヤルを回し、細かめに設定してください。(13 ページ参照)
 または  が点灯、他の記号が点滅している。	マシンが長期間寒さにさらされている場合、安全上の理由から加熱が無効になっている可能性があります。 (マシンは自動的にオフになります)	室温を暖かくしてから再度電源を入れ直してください。 室温が 0 度以下になる場合は凍結しますので、必ず水抜きをおこなってください。 (26 ページ参照)
豆がうまく挽けない。 コーヒーが薄くなった。	ホッパー内に異物が入っている。	異物を取り除いてください。
	挽き目が細かすぎる。	挽き目調節ダイヤルを回し、粗めに設定してください。(13 ページ参照)
	ホッパー内が汚れている。	ホッパー内を清掃してください。(21 ページ参照)
	豆が湿っている。	新鮮な豆に交換してください。
トレイユニットが本体に入らない。	洗浄中やすすぎ中など、本体の動作中にトレイユニットを抜いてしまったため、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。	① かず受け容器を入れない状態で、トレイユニットをいったんセットし、電源をオフにします。 ② 2 ～ 3 分してから電源をオンにします。 ③ トレイユニットを抜き、かず受け容器を入れたあと、再度トレイユニットをセットします。
トレイユニットがひっかかって取り出せない。	本体の動作中にトレイユニットを引き出そうとして、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。	① トレイユニットを元の位置に挿入し、電源をオフにします。 ② 2 ～ 3 分してから電源をオンにします。
電源を入れてからある程度時間が経つと電源がオフになる。	オフタイマーが動いた。 (一定時間操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります)	再度使用するときには、電源スイッチを押して電源を入れてください。 オフタイマーの時間は設定することができます。(22 ページ参照)
クラリススマートフィルターを交換してもマシンに検出されず、すすぎが始まらない。 マシンが急にクラリススマートフィルターを認識しなくなった。	低温のため、RFID センサーがクラリススマートフィルターのタグ情報を読み取れない。	周囲温度が 10℃以上であるか確認ください。 10℃以下である場合、フィルターを取り外してから 10℃以上の場所にしばらく本製品を置いた後、再度フィルターの取り付けをお試しください。

保管方法




- 乾燥した清潔な場所に保管してください。
- 高温多湿な場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
(保管環境温度 4 ~ 60°C)
- 長期間使用しないときや冬季をまたいで保管する場合は、本体内部のコーヒー豆と水を抜き、購入時に入っていた箱に入れて保管してください。(26 ページ参照)

廃棄について

製品や使用済のフィルターを廃棄するときは、お住いの各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

水抜きの方法

マシンを長期間使用しない場合や冬季をまたいで保管する場合、または運搬する場合は、以下の手順で本体内部のコーヒー豆と水を抜きます。

- ① コーヒー豆がなくなるまでコーヒーを抽出します。
- ② 給湯口の下に容器を置きます。
- ③ 給湯ノブを  マークに合わせます。
- ④ 水タンクをコーヒーマシンから取り外します。
→マシン内部に残っている水がなくなるまでお湯が出ます。
- ⑤ 排水が止まり、 が左から右へ点滅したら、給湯ノブを ① マークに合わせます。
- ⑥  が点灯したら、電源ボタンを押して、電源をオフにします。

アフターサービスについて

別紙の「保証とアフターサービスについて」と「保証書」をご覧ください。

仕様

寸法	幅 280mm × 奥行 446mm × 高さ 351mm
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1200W
給水タンク容量	約 1.8L (クラリススマートフィルター装着時)
ホッパー容量	200g
コーヒーかす受け容器の容量	最大 16 杯分 ※選択したコーヒー粉量により変わります。
質量	約 9kg
コードの長さ	約 1.1m
保管環境温度	4 ~ 60℃
使用環境温度	10 ~ 35℃

※本製品は総務省の型式指定を受けた RFID を内蔵しています。

Made in Portugal

お問い合わせについて

■使用上お困りのとき、お問い合わせ先

エームサービス株式会社

- TEL :
- FAX :
- 担当営業所 :
- 連絡先 :
- 営業時間 月～金曜日 (土・日・祝日祭日除く) 9:00 ~ 17:30

■上記時間以外

コールセンター連絡先

- TEL : 045-947-0804
- FAX : 045-947-0803

※ 初めに、ユーザー情報をお伝えください。

- ① 販売店: 『エームサービスからコーヒーマシンを借りている』
- ② 使用機種: 『E4』
- ③ 不具合の内容

※ コールセンターの電話相談でトラブルが解決しなかった場合は上記営業時間にエームサービス担当営業所宛に修理依頼を掛けてください。

輸入／販売元

ブルーマチックジャパン株式会社

<http://www.brewmatic.co.jp>

本社：神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

大阪営業所：大阪府大阪市西区阿波座 1-9-9

福岡営業所：福岡県福岡市博多区豊 1-5-24



©2022 ブルーマチックジャパン株式会社

16082022